

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (4/10)	実習の概要説明 事前テスト(ほぼ全範囲) 講義：高齢者の特徴1) ① 老化の仕組みについて説明できる。 ② 高齢者の定義・高齢化率について説明できる。 ③ 日本人の死因順位について説明できる。	[予習] 教科書 B, P.1-18 を読んでおくこと [復習] 高齢者の特徴の再確認 [キーワード] 加齢による変化(身体的, 知覚的, 心理的, 認知機能, 免疫機能)	○宮城、 中向井、 小堀
2 (4/17)	講義：摂食嚥下の仕組みとその障害 ①摂食嚥下の仕組みを説明できる。 ②摂食嚥下の発達とその障害を説明できる。 ③加齢による摂食嚥下障害を説明できる。	[予習] 教科書 B, P11-23, 34-67, 135-149, 168-193 を読んでおくこと [復習] 摂食嚥下の仕組みと発達を振り返る。老化による摂食機能低下について振り返ること。 [キーワード] 摂食の5期、プロセスモデル、摂食嚥下機能獲得段階、摂食嚥下障害、間接訓練、窒息、誤嚥性肺炎、摂食スクリーニングテスト	○宮城、 中向井、 小堀
3 (4/24)	講義：摂食嚥下障害とリハビリテーション ①摂食嚥下障害の評価法を説明できる。 ②摂食嚥下障害のリハビリテーションを説明できる。	[予習] 教科書 B, P135-149, 150-226 を読んでおくこと [復習] 加齢による摂食嚥下機能低下の理由とその評価・対応について振り返ること [キーワード] 口腔内加齢変化、窒息、誤嚥性肺炎、口腔衛生管理、摂食スクリーニングテスト、外部観察評価、マンチング、反復唾液嚥下テスト、改定水飲みテスト、フードテスト、咳テスト、頸部聴診法、精密検査、VF、VE 間接訓練、直接訓練	○宮城、 中向井、 小堀
4 (5/15) (5/1)	実習：バイタルサイン・モニタリング ①脈拍数の測定法を習得し、説明できる。 ②血圧の測定法を習得し、説明できる。 ③動脈血酸素飽和度 (SpO ₂) について説明できる。	[予習] 血圧、脈拍、動脈血酸素飽和度を調べること。 [復習] 上記について再度確認する。 [キーワード] バイタルサイン、呼吸、体温、脈拍、血圧、触診法、聴診法、動脈血酸素飽和度、パルスオキシメーター	○今泉、 中向井、 宮城 B 班のみ 美馬

<p>5 A (5/1) B (5/15)</p>	<p>実習：介護技術（体位変換） ①体位変換技術について習得し、説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 A の該当部分を読んでもくこと [復習] 体位変換法について実際に復習すること [キーワード] 基本姿勢、寝返り、起き上がり、体位（端坐位、半座位、フアーラ位、仰臥位、側臥位、腹臥位）、健側、麻痺側、体位変換</p>	<p>○中村、 小堀、 (宮城)</p>
<p>6 A (5/22) B (5/8)</p>	<p>実習：救急蘇生法 ①一次救命法について習得し、説明できる。 ②AED について習得し、説明できる。</p>	<p>[予習] 救急蘇生法について調べること [復習] 一次救命法について考察すること [キーワード] 心肺蘇生法、BLS、胸骨圧迫、AED、CPR</p>	<p>○黒田、 中向井、 (宮城) 美馬</p>
<p>7 A (5/19 金) B (5/22)</p>	<p>実習：高齢者疑似体験・車椅子の操作と移乗 ① 高齢者の機能低下について体験して理解する。 ② 車椅子の操作と移乗について習得する。 ③ ユニットへの移乗について習得する。</p>	<p>[予習] 教科書 A、P12-24, 112-133 を良く読んでおくこと [復習] 高齢者は活動性が低下することを考察する。車椅子の名称と操作法について復習すること [キーワード] 高齢者疑似体験、車椅子、車椅子の名称（ティッピングバー、ハンドリム、フットサポート）</p>	<p>○小堀、 (宮城) A 班のみ 美馬</p>
<p>8 A (6/5) B (6/12)</p>	<p>実習：嚥下調整食（介護食・配慮食） ①嚥下調整食の必要性を理解し、説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 B、P161-169 を読んでくこと [復習] 障害者や要介護者に合う食形態について考察すること [キーワード] 嚥下食ピラミッド、嚥下(調整)食、とろみ剤、食形態、初期食、ペースト食、押しつぶし食、咀嚼食</p>	<p>○服部(招 聘講師)、 中向井 A 班のみ 美馬</p>
<p>9 A (6/12) B (6/5)</p>	<p>実習：摂食嚥下評価 ①摂食嚥下機能の評価法を習得し、説明できる。</p>	<p>[予習] 教科書 B、P19-21, 161-169 および講義プリントを読んでくこと。 [復習] 摂食評価法を再確認すること。 [キーワード] [キーワード] RSST、</p>	<p>○宮城、 小堀 A 班のみ 美馬</p>

		MWST、FT、オーラルディアドコキネシス	
10 A (6/12) B (6/19)	実習：摂食嚥下リハビリテーション1) ①間接訓練ついて習得し、説明できる。	[予習] 教科書 B, P202-215h および講義プリントを読んでおくこと。 [復習] 間接訓練法に何があるか考察する。 [キーワード] 脱感作、バンゲード法、ガムラビング、嚥下体操、頭部挙上訓練(シャキア)、ブローイング、アイスマッサージ、押し運動	○宮城、 小堀 B 班のみ 美馬
11 A (6/26) B (6/19)	実習：口腔衛生管理(口腔ケア)・吸引技術 ①口腔衛生管理の方法を習得し、説明できる。 ②歯科衛生士による口腔機能管理における痰吸引の目的について説明できる。 ③鼻腔内および口腔内吸引を習得し、説明できる。	[予習] 教科書 B, P19-21, 117-123、および講義プリントを読むこと。 [復習] 評価法を確認する。安全で効果的な口腔のケア方法を考察する。 [キーワード] 口腔ケア、口腔健康管理、ファーラ位、仰臥位、側臥位	○中向井 A 班のみ 美馬
12 A (7/10) B (7/3)	実習：摂食嚥下リハビリテーション2) ①直接訓練ついて習得し、説明できる。	[予習] 教科書 B, P196-201, 216-226 および講義プリントを読んでおくこと。 [復習] 直接訓練法に何があるか考察する。 [キーワード] 息こらえ嚥下、一側嚥下、横向き嚥下、うなずき嚥下、嚥下の意識化	○宮城、 中向井、 小堀 A 班のみ 美馬

注：第4回から12回は、班(A・B)によって順番・日程が変更になる